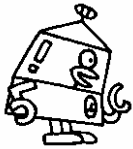


## バナナには、なぜ、たねがないの



バナナを食べるとき、かじった実の中を観察すると、黒いたねのあとが残っているよ。昔はたねがあったのさ。

### 野生のバナナには、たねがある

バナナの実を輪切りにしたり、たてに半分に切ったりして、切り口を見てみましょう。真ん中あたりに、たねだった、黒いすじのようなぼつぼつが見られます。

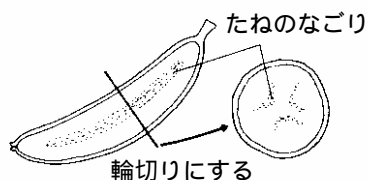
バナナは、昔からさいばいされてきて、たねのない種類がひろがったため、今のバナナには、たねがありません。でも、野生のバナナには、たねがあります。

### さいばいされたバナナは、たねがなくてもふやせる

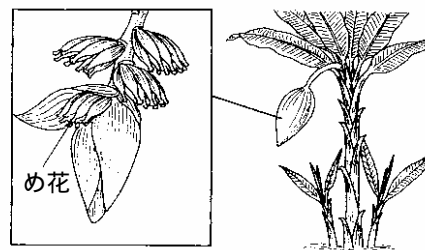
バナナは、シュロによく似た葉をもつ植物で、成長すると、重なった葉のてっぺんから、大きな筆の先のような形をした、つぼみのようなものがたれ下がってきます。これが、バナナの花になるものです。つぼみが成長するにつれて、外側から1枚ずつ皮がめくれるようにそり返り、中から、2列に重なったバナナのふさの形をした、め花が出てきます。つぼみのいちばん内側に、お花がついています。

さいばいされているバナナは、お花はなくてもよく、め花の根もとが大きくふとくなって、バナナの実になります。

バナナは、根もとのわきから、小さな芽が何本も出てきます。この芽を切りはなして、なえとして植えます。そのため、たねがなくても、ふやせるのです。



バナナの実とたねのあと



バナナの木と花